

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

(別紙4)

[認知症対応型共同生活介護用]

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成20年2月6日

## 【評価実施概要】

事業所番号	873900542		
法人名	医療法人社団 正信会		
事業所名	グループホーム さくら		
所在地	石岡市東成井2219-8 (電話) 0299-28-7005		
評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	水戸市千波町1918 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成19年8月31日	評価確定日	平成20年2月22日

【情報提供票より】 (平成19年7月1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成15年11月25日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	16 人	常勤	10人, 非常勤 6人, 常勤換算 4.2人

### (2) 建物概要

建物構造	木造平屋	造り
	1階建ての	～ 1階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,500 円	その他の経費(月額)	5,000 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	—	
食材料費	朝食	250 円	昼食	350 円
	夕食	300 円	おやつ	100 円
	または1日当たり 円			

### (4) 利用者の概要 (8月31日現在)

利用者人数	23名	男性	7名	女性	16名	
要介護1	5	要介護2	10			
要介護3	6	要介護4	2			
要介護5	要支援2					
年齢	平均	84歳	最低	67歳	最高	95歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	美野里病院	長谷川歯科医院
---------	-------	---------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

設置法人は13ヶ所のグループホームを運営するとともに、病院も開設しており、医療、福祉、介護を展開している。  
 玄関ホールに法人の理念である「やさしく、しんせつ、ていねいに」を掲げるほか、ホーム独自の理念「こころやすらぐこの場所でみんなの笑顔が私たちのしあわせ」を考え掲示している。  
 管理者や職員は、利用者が喜びや楽しみを持って地域の一員として暮らしていけるよう積極的に支援している。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	外部評価の結果を全職員で話し合い、書類関係の見直し、ホーム便りの発行、家族への定期的な金銭出納状況の報告等の課題を改善している。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	全職員で自己評価に取り組み、外部評価の結果を話し合うなど、サービスの質の向上に努めている。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	市の職員、民生委員、地域の代表者を委員とする運営推進会議を開催し、地域の方々の理解と交流を深めることができ、更に委員からの意見や要望を利用者へのサービス向上に活かしている。 また、議事録を作成し、利用者の家族に報告している。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族の訪問時等に声をかけ、意見や要望等を聞いている。 また、出された意見や要望をミーティング等で話し合い、支援等に反映している。 定期的にホーム便りや金銭管理の報告を家族に送付している。 利用者一人ひとりの日常の様子を写真に撮り、いつでも見ることができるよう玄関ホールにアルバムを設置している。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	事業所の行事に地域の人々を招待したり、ホーム便りの配布、ボランティアを積極的に受け入れるなど、地域と交流している。 利用者が地域の方々と更に交流できる機会を増やすため、老人会等に加入するなど、事業所の理解を深める働きかけを期待する。

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「心やすらぐこの場所でみんなの笑顔が私たちのしあわせ」を理念に掲げ、利用者が地域の一員として暮らし続けることを支援している。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	玄関ホールに理念、目標、社訓を分かりやすく掲示するとともに、全体会議やミーティング等で復唱し、共有を図っている。 また、利用者支援にあたり、理念を実現できるよう実践している。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	事業所の行事に地域の人々を招待したり、ボランティアを積極的に受け入れるなど、地域と交流している。	○	利用者が地域の方々と更に交流できる機会を増やすため、老人会等に参加するなど、事業所の理解を深める働きかけを期待する。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全職員で自己評価に取り組んでいる。 また、外部評価の結果を全職員で話し合い、書類関係の見直し、ホーム便りの発行、家族への定期的な金銭出納状況の報告等の課題を改善している。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を開催し、地域の方々の理解と交流を深めることができ、更に委員からの意見や要望を利用者へのサービス向上に活かしている。 また、議事録を作成し、利用者の家族に報告している。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村担当者と連絡を密に取り、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議している。		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	定期的にホーム便りや金銭管理の報告を家族に送付している。 利用者一人ひとりの日常の様子を写真に撮り、いつでも見ることができるよう玄関ホールにアルバムを設置している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の訪問時に声をかけ、意見や要望等を聞いている。 また、出された意見や要望をミーティングで話し合い、支援等に反映している。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員は利用者全員を把握しており、職員の異動をユニット間で必要最小限に行うなど、利用者のダメージを防ぐよう配慮している。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	月1回、内部研修を実施するほか、外部研修受講者は研修内容を文書にて報告し、全職員が研修内容を閲覧、学習できる体制となっている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	設置法人で複数のグループホーム間の職員研修や交流をしているが、他の同業者と交流するまでには至っていない。	○	同業者との交流を検討しているので、実現に向けた取り組みを期待する。
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	サービスを開始するにあたり、本人が安心してサービスを受けられるよう見学や体験入居を行い、ホームの雰囲気に馴染めるよう支援している。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は「利用者は人生の先輩である」という考えを共有しており、利用者から教えられている。 玄関に展示している利用者の作品は見る人に安らぎをあたえてくれる。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	全職員が利用者一人ひとりの思いや意向の把握に努めるとともに、常に関心を払っている。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用の開始にあたり、利用者・家族とよく話し合い、問題点や課題に沿った介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の遂行状況や効果などを評価するとともに、状態変化、家族・本人の要望に応じて介護計画を見直ししている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医療連携加算を取得し、適切な医療を受けられる体制を整えるとともに、本人・家族の状況に応じて柔軟に対応している。	○	今後は地域の福祉ニーズを把握し、空室を利用したショートステイの受け入れ等について検討することを期待する。

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	設置法人内の病院と連携し、利用者が適切な医療が受けられる体制を築くとともに、歯科医の協力を得られる体制となっている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用者本人や家族の強い要望もあり、終末期の支援に取り組んだ経験がある。	○	終末期の支援経験を活し、本人・家族の意向を文書で確認するとともに、重度化した場合や終末期における指針を取り決めるなど、支援体制の確立を期待する。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない	全体会議やミーティング等で、利用者の誇りやプライバシーを損ねない支援を行うよう徹底している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	理念に基づき、利用者一人ひとりのペースを大切に、穏やかに過ごせるよう支援している。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者が食事を楽しむことができるよう彩り、量、盛り付け等、利用者一人ひとりに配慮している。 また、職員も利用者と一緒に和やかに食事を楽しんでいる。	○	食事の献立について、利用者の好みや希望を取り入れ、誕生日等の行事に取り入れるなどを検討することを期待する。
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴支援を行うには至っていない。	○	利用者の希望や汗のかきやすい季節に応じた入浴支援が行われるよう検討することが望まれる。
<b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者一人ひとりの得意なことを把握しており、力量に合わせた仕事を頼み、感謝の言葉を伝えている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	事業所敷地内への出入りは自由にしているが、立地や職員、移動手段の手配等により、利用者の希望に沿った外出支援を行うには至っていない。	○	利用者の希望や意見等を聞き、外出の機会を増やせるよう検討することが望まれる。
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	事業所の玄関は、利用者の安全を守るため、中からは出られないが、外からの出入りは自由になっている。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害に関するマニュアルを作成するとともに、年2回消防訓練を実施している。		
<b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の献立は栄養士が作成し、利用者一人ひとりの食事や水分摂取量を記録している。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホーム内は、庭に咲いている花を飾ったり、心地よい生活の音、外からの爽やかな風、外の風景も見えるなど開放感があり、居心地よく過ごせるよう配慮している。	○	体感温度だけに頼らず、温度計や湿度計を設置することを提案する。
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、利用者が使い慣れた好みの物や仏壇を置くなど、利用者一人ひとりが落ち着いて過ごせるよう配慮している。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。